

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		美術 I (2)			
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数	
原則2年次		通年	8	6	
科目の概要	・「デザイン」(色彩を使用)、「絵画」(デッサン)、「鑑賞」の課題を通して作品を制作することで創造することの楽しさを感じ、独自の感性を大切に美しいものに対する興味を養う。 ・レポートでは、教科書を中心に、世界に残る幅広い作品群に触れ、さまざまな考え方や見方、表現を学ぶ。				
科目の目標	・創作活動を通して個性あふれる感性を育てる。 ・創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、美についての意識を深める。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	色面構成①	・鉛筆又はシャーペンを使い円を美しく描く練習をする。 ・定規を使い正方形を描き、その中に練習した大小の円を重ねデザインを作る。(正方形＝20cm×20cm)	1、2		前期
	色面構成②	・円で表現した正方形の中のそれぞれとなりあった形を、むらのないように3色で塗り分ける。(水彩)	3、4		
	レポート①「デッサン」	・教科書P.20-21、44を参考に身の回りの果物や野菜、又は花や葉を選び、中心として構図・構成する。 ・モチーフをできるだけ細部まで見つめて描く。		1	
	レポート②「レタリング・明朝体」	・教科書P.64-65と例題を参考に明朝体を練習し、自分の名前を明朝体の特徴を用いて書く。		2	
	レポート③「鑑賞・風神雷神」	・教科書p.26-27の「風神雷神」がモチーフの作品を鑑賞し、美しいと思ったところや作品を見て感じたことを説明する。		3	
	鉛筆デッサン①	・身近なモチーフである靴をデッサンする。(大まかな形どり) ・定められた構成の靴を、画用紙に実物大で収まるような構図に配置する。	5、6		後期
	鉛筆デッサン②	・靴のデザインや紐(ある場合)、ステッチ、色、影等細部まで観察を行う。 ・リアリティーを追求し、線や面で捉えて描く。	7、8		
	レポート④「写生・風景」	・教科書のP18-19を参考に自分の家から見える風景、又は近所で絵になると思われる場所を描く。 ・画材は鉛筆、色鉛筆、パステル、絵の具等、自由に選ぶ。		4	
	レポート⑤「鑑賞・美術史」	・教科書p.91-94「現在とこれからの美術(美術史)」から興味・関心を持った作品を一つ選び、その作品を選んだ理由や、考え、感じたことを説明する。		5	
レポート⑥「デッサン・自画像」	・教科書p.16-17を参考にして自画像をねばり強く描く。(自分を見つめることを試みる)		6		
評価方法	年度末の成績評価は実技、レポート、スクーリング、試験によって決定する。 実技:2つの課題への取り組み。(発想・関心・意欲・個性・構図、構成力・表現の技能) レポート:全6回の提出課題。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。				
単位の修得	①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間8時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。				
使用教科書等		高校美術(日本文教出版)			
学習上の留意点		・スクーリングは1回2時間連続。 ・レポートは期日を決め提出。 ・試験での課題内容は試験開始時に発表する。 ・試験は50分で課題を行う。			